

- ① 1年程度をかけ国内最大規模となる杭の鉛直載荷試験を実施し、今後の施工に向けて必要となる地盤データを取得し、施工管理に反映していく予定です。
- ② 載荷試験後に本格的な基礎工事に着手する予定です。

杭の鉛直載荷試験の概要(1P~4P主塔位置)

本試験は、国内でも最大規模となるφ1,500mmの鋼管杭を用いた載荷試験であり、衝撃・静的の2方式の載荷試験を同一地盤に行います。



図-1. 載荷試験位置図

表-1 新港・灘浜航路部 海上長大橋における 当面のスケジュール(案)

令和5年度	令和6年度

※時期については、今後変更される可能性があります。
個別の入札・契約情報をご確認ください。

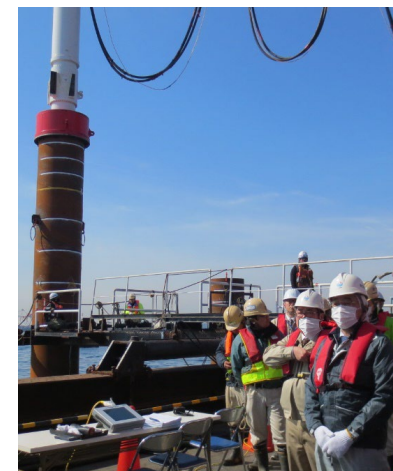


図-2. 杭の鉛直載荷試験イメージ
(上: 静的載荷試験、下: 衝撃載荷試験)